

カケンが取り組む 環境に関する試験と環境情報開示について

著作者：macrovector / 出典：Freepik

講演内容

一般財団法人カケンテストセンター（略称：カケン）では、繊維製品（糸、生地、最終製品など）を中心に皮革類、紙、ゴムやプラスチックなどの樹脂類、その他産業資材など幅広い分野にわたって試験・検査およびコンサルト業務を行っております。様々な業務の中から、今回は環境をテーマとした2つの業務をご紹介します。

※参考：一般財団法人カケンテストセンター <https://www.kaken.or.jp>

講演者

五味 光弘 氏 MITSUHIRO GOMI

1998 年 財団法人日本化学繊維検査協会（現：一般財団法人カケンテストセンター）入職。帯電性試験、燃焼性試験、各種物性試験などを担当。2014 年より上海に駐在し、2016 年から 2020 年 10 月まで江蘇省南通市に駐在。現在は、ファイバーフラグメントリリース試験や多くの機能性試験を実施している東京事業所の所次長として川口本所に在籍。

環境に関連する試験として、洗濯時に衣料品から発生するファイバーフラグメント（Fibre fragment: 繊維の短い断片）量の程度を確認する試験があります。これは繊維由来のマイクロプラスチックによる海洋汚染に関連する試験となっており、現在注目されている試験です。今回はこちらの試験をご紹介します。



藤田 一馬 氏 KAZUMA FUJITA

2001 年 財団法人日本化学繊維検査協会（現一般財団法人カケンテストセンター）入職。試験関連業務や営業職などの業務を担当。日系企業の中国国内販売に向けたコンサルティング業務などにも従事。海外駐在勤務経験として中国青島、上海に計 8 年駐在。2023 年 4 月よりサステナビリティ関連の部署に配属となり、サステナビリティ経営推進部・部次長として、本部に在籍。

昨今は様々な環境問題が顕在化しており、環境情報開示の重要性が高まっています。今回は環境情報開示のニーズや、温室効果ガス排出量を可視化するための手法等についてご紹介いたします。



お申し込み

ecocafe@eepa.or.jp

まで、氏名、所属、メールアドレスを明記のうえ
お申込ください。【受講無料】



今回の Eco Cafe は
オンライン開催となります。
※zoom を使用いたします。

主催：専門学校東京テクニカルカレッジ 共催：一般社団法人 環境教育振興会

2024 **10.11** 金
18:00 - 19:30